

## インフルエンザ(2026年第1週)疫学情報 《コメント》

2026年第1週の定点当たり報告数は10.35(患者報告数33,217)となり、前週の定点当たり報告数22.77よりも減少した。都道府県別では宮崎県(38.71)、鹿児島県(23.19)、沖縄県(23.18)、福岡県(20.29)、岐阜県(19.70)、島根県(18.05)、長崎県(17.73)、茨城県(17.64)、大分県(17.21)、愛媛県(17.04)、高知県(17.00)、香川県(15.70)の順となった。全国47都道府県中、3都道府県では前週の報告数よりも増加し、44都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は1,009例であり、前週(1,401例)から減少した。47都道府県から報告があり、年齢別では1歳未満(40例)、1~4歳(105例)、5~9歳(56例)、10代(47例)、20代(31例)、30代(20例)、40代(19例)、50代(36例)、60代(92例)、70代(182例)、80歳以上(381例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近5週間(2025年第49週~2026年第1週)では、AH3亜型が384件(95%)、AH1pdm09が3件(1%)、B型が19件(5%)の順であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。